

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	8/11(火)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	全体会議出席者21名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	0%	18人	82%	4人	18%	0人	0%	22人	100%

前回の改善計画

利用者本人の「どうしたいのか」を把握していますか？(アセスメントや介護計画を読んでいますか？)

前回の改善計画に対する取組み結果

大半の職員が何とか出来ていると答えた。
 利用者の「どうしたいのか」をアセスメントや介護計画書を読んで把握できるが、覚えきれなかったり、忙しく仕事をしているうちに目の前の事だけが見えてしまい利用者本人の目標や希望を見失ってしまうという意見が見られた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	5人	23%	14人	64%	3人	14%	0人	0%	22人	100%
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0人	0%	16人	73%	6人	27%	0人	0%	22人	100%
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	4人	18%	14人	64%	2人	9%	2人	9%	22人	100%
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1人	5%	15人	68%	5人	23%	1人	5%	22人	100%

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①申し送りや記録を読み、共有しようとしている。利用開始前にアセスメントを読み、状態やニーズの把握に努めている。個人ファイルにて事前に確認している。ミーティングなどで把握している。時間を見つけてアセスメントや介護計画を読み、理解できている。</p> <p>②情報がサービス開始前にわかるので対応できている。介護計画書を読んで出来ることから始めている。申し送りで確認している。介護計画書に記載された情報を元にコミュニケーションやケアを行っている。本人からのニーズを聞いたら共有し、全体で検討・対応の変更などをして対応している。時間が空いた時は出来るだけ利用者の近くにいるように心がけている。</p> <p>③初期には極力声掛けを心掛けて早くなじんでもらえるように努めている。利用者が興味ある事を会話に入れるようにしている。笑顔と声掛けを意識している。利用者様と話ができている。話を聞くのが好きなので利用者の思いを引き出せるよう配慮して接している。この人はこうだと決めつけないようにしている。顔を合わすたびに声を掛けている。コミュニケーションが取れる利用者とは本人の意向に沿える介護や看護が出来た。利用間もない方には本人の好きな事をレクに取り入れれたり、安心できる空気作りをしている。</p> <p>④家族と利用者の様子がわかるように連絡ノートや申し送りに気を付けるようにしている。受診後の様子・結果を家族にわかりやすく説明できている。コミュニケーションを図りながら安心できるように言葉に気を付けている。連絡ノートにちゃんと返事を書くようにしている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①最初に読むが後々まで覚えていられない。スタッフ間の情報共有に時々漏れがある。全ての情報が頭に入り切っていないのでその都度確認が必要になっている。なかなか読み込めていない。</p> <p>②意識していないと忙しさにかまけて忘れがち。申し送りのみの確認で済ませることが多い。完璧に満足のいく支援にはなっていない。アセスメントや介護計画がしっかり読めていなかったり、申し送りを把握していない時があった。</p> <p>③声掛けがうまくできない。声掛けはするがなんだか分からず忙しさにかまける事あり。気遣いが自分ではまだまだだと思ふ。かかわる時間が限られている時は頻回には出来ない。言葉遣いなども難しくなかなか上手い出来ない。コミュニケーションが取れない方に関してこちら側からの一方的な介護・看護になっている。顔(目)を見て表情をチェックしながら声掛けを行っている。</p> <p>④ご家族との関係が構築できていない。ご家族と話せる時間が少ない。利用者さんと家族とはコミュニケーションをとるが不安を受け止めるまでは出来ていないと思う。ご家族とあまり話が来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見：</p> <p>①新規利用者の情報はアセスメントなどで事前に提供され確認しているが、読む時間がなかったり読んでも覚えきれなかったりなど情報を生かせない職員もいる。</p> <p>②介護計画・申し送りなどで情報の共有は行われ、出来る所から工夫している職員が多い。情報の共有がしっかりできていないことがある。</p> <p>③笑顔や目を合わせる、出来るだけ近くにいるなどそれぞれ工夫して声掛けなどを行っている。仕事が忙しい時に十分な声掛けなどできていないと感じている職員もいる。</p> <p>④連絡ノートを通して、普段交流がないご家族の声を確認している。ご家族とコミュニケーションをとる機会が少ない。</p>	
<p>次回目標</p> <p>-利用者のアセスメントに目を通そう。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	8/11(火)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	全体会議出席者21名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
① 前回の課題について取り組めましたか？	5 人	23 %	11 人	50 %	6 人	27 %	人	0 %	22 人	100 %

前回の改善計画

本人の目標を実現するために、家族や介護者、医療、地域、職員が連携できているか？
(申し送りや連絡ノートなどを活用し、訪看等と連絡を取り合うなど出来ているか？)

前回の改善計画に対する取組み結果

連絡ノートや申し送りを通して利用者、職員、家族の連携は取れているが、職員個人が病院や訪看、民生委員等と連絡を取り合うことがないので分からない。
事業所単位では病院や訪看・他事業所・他職種と連絡を取り合い連携することで利用者へのサービスが成り立っている。
看護師が訪看や医師に連絡するときは密にできている。地域(近所・知り合い)との連携が出来ていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	2 人	9 %	12 人	55 %	8 人	36 %	人	0 %	22 人	100 %
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2 人	9 %	10 人	45 %	10 人	45 %	人	0 %	22 人	100 %
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	1 人	5 %	10 人	45 %	11 人	50 %	人	0 %	22 人	100 %
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	4 人	18 %	7 人	32 %	11 人	50 %	人	0 %	22 人	100 %

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①介護記録・アセスメント・介護計画書等を読んで把握している。</p> <p>②忙しい中でも意識して気を付けるようにしている。介護計画書と利用者とのコミュニケーションで把握している。正確には覚えていないが、普段の利用者と接する中で理解している。</p> <p>③本人の意思を理解できるよう心掛けている。細かい目の前の目標、特に身体的介助で達成できる目標についての関わりは出来ている。</p> <p>④利用者の状態に合わせて現実的な支援を検討し、行っている。受診前には本人や他の職員・連絡ノート・個人日誌などで問題点や困っていることを確認してから受診した。訪看と連絡を取り合い情報を共有することが出来た。申し送り内容が近日の物であれば対応に生かすことが出来る。全体会議やカンファレンスで決まったことは文書や申し送りで共有されている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①本人に聞くと毎回違う答えが返ってくる。利用者本人が何もできないのだとあきらめてしまっている。全ての利用者の目標を覚えきれていない。把握しようと思うが目の前のことに気を取られて忘れてしまう。把握していない。本人の目標(ゴール)そこまで知る必要があるのか？いまいち理解できない。</p> <p>②把握していない。例えばリハビリ・レクリエーションなど本人を誘ってみてもしんどい、今日はやめておくなどの声が聞かれる。本人が自分自身の体の状態を理解できなくて希望通りの支援が行えない場合がある。全員分のはわかっていない。意思表示しにくい利用者や動きの少ない利用者への対応が後回しになってしまう。安全面を考慮すると利用者の希望に沿えない時もある。</p> <p>③日々の関わりの中で目標を忘れ業務をこなしている時もある。その日その時の本人の意志を尊重しては関わられるが、当面の目標は意識していないと難しい。</p> <p>④会議などで発言できないことがある。(自分と同じ意見の人が発言している為)介護職員と看護師との間の申し送りがうまくいかない時があった。自分の意見は言わずに聞くだけで納得している。発言できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見：</p> <p>①時間を作り、介護計画等に目を通すようにしてるが、忘れてしまうことがある。忙しい。意識して継続的に続けていくことは難しい。利用者の身体的な状況なども日々変わっていくのでそこまで意識していない。</p> <p>②把握はしていても、手のかからない利用者は後回しになってしまったり、本人の意志が日によって違う・意思表示の薄い利用者はこちらで勝手に判断して介助してしまうなど目標に沿った介助は難しい。</p> <p>③個別対応が必要な利用者が優先されがち。安全面を考えて利用者の希望通りにできない事もある。</p> <p>④申し送りなどで情報の共有は出来ているが、理解していなかったり言葉が足らずに正確に伝わらない場合があった。</p> <p>・次回目標：申し送り時に送迎などで聞けなかった人は必ず確認するようにしましょう。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

8/11(水)

3. 日常生活の支援

メンバー

全体会議出席者21名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	14%	17人	77%	2人	9%	人	0%	22人	100%

前回の改善計画

利用者本人の能力を活かし、「普段の生活の支援」=自立支援を基本としたケアができているか？
(これまでの暮らしを把握し、必要な事を知る→介護計画書の確認など)

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者の記録や資料を確認でき、本人のその日の体調や気分に合わせて食事や入浴など対応することが出来る。

新しく入ったばかりで読み切れていない、把握できていない職員もいる。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0人	0%	6人	27%	11人	50%	5人	23%	22人	100%
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7人	32%	13人	59%	2人	9%	人	0%	22人	100%
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3人	14%	13人	59%	6人	27%	人	0%	22人	100%
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7人	32%	12人	55%	2人	9%	1人	5%	22人	100%
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6人	27%	12人	55%	3人	14%	1人	5%	22人	100%

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①介護計画書・アセスメントなどで確認している。連絡ノートや個人ファイル等をチェックして本人が出来ることをチェックして行うことが出来た。基本的な情報は把握している。小さな事柄でもいいのなら、把握している。</p> <p>②基本的介護は出来ている。一人一人の気持ちに寄り添い、本人に合わせた介護が出来るように心がけている。必要以上に手を出さない、本人の能力、出来ることを見守るよう注意している。普段の会話の中で気持ちを聞くことが出来ている。本人の出来ることを把握し、やっていただくなどは出来ている。</p> <p>③ミーティング時は自分が疑問に思う所は発言し、皆が介護しやすいように共有している。申し送り以外では何故？どうして？理解するまで聞いている。バイタル・表情・睡眠などの情報を共有して、チーム内で言語化できている。ミーティングや声掛けで共有することが出来ている</p> <p>④本人の状態を見て気付いたことはその都度共有し、必要に応じて対応を変更している。利用者の声を聴きながら一緒に目標に向かって努力している。(その時は利用者の笑顔も見られるように頑張る)利用者の変化に気付いた時は記録を残し、皆で共有・対応できるようにしている。声掛けするように心がけている。職員間での共有が申し送りや介護記録などでなされており、利用者により添える。体調の変化などは看護師が快く対応してくれるので助かっている。声掛けや申し送りで共有できる関係が出来ている。</p> <p>⑤本人の状況に合わせて介護・看護を行い、状態の変化を早期に発見・対応できている。体調の変化・事故などに対して処置や処理が出来ている。「誰それがこう言うから」そうするのではなく、自分で判断して自信を持ち責任ある行動を取っている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①自宅での生活環境や、以前の暮らし方等まで10個は把握していない。忘れてしまっていることが多い。アセスメントなどに目を通して本人の自宅での様子や生活環境を把握しているつもりでも忘れてしまうことがある。宿泊を利用する利用者の生活環境をもう少し把握できるよう、本人・ケアマネ・ファイルなどをもう少ししっかりチェックしていきたい。ゆっくり話す時間やファイルを読み時間がほとんどないので難しい。利用者本人の自宅での様子や地域社会とのかかわりについて理解できていない。本人らしさをしっかり生かしているか不安。</p> <p>②細かな気持ちや体調の変化などは先輩方の気づきから教わる事が多い。車いすからの移乗や衣服の着脱などつい介助しすぎてしまう事がある。本人が出来ることもつい手を出してしまう。こちらの仕事の都合で手を出しすぎている事がある。</p> <p>③声にならない声が本当に本人の望んでいる事なのか不安になる事がある。「声にならない声」が自分の思い違いではないか等と考えて躊躇することがある。自分の思ったことが本当に本人の声かと言われると自信がない時もある。</p> <p>④利用者の思いと一緒に考えて考える時間がない・声を聴く時間がない場合がある。。利用者本人の気持ちや体調の変化を記録には書いてもその都度共有できていない時がある。</p> <p>⑤夜間の状態の情報不足の為オムツ・パットの調整や入眠時間を把握しきれず、知識不足・対応が甘い所がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見：忙しくて個人の情報をすべて把握しきれない。利用者本人に共感する言葉不足・声掛け不足・行動力不足。利用者の情報はファイルや連絡ノート・申し送りなどで把握できるが、利用者に関わる時間が足りてないので一人一人に対応した介助が出来ていないのでは？と不安になる事がある。施設内介助がほとんどの為、自宅での暮らしを把握する機会が少ない。失敗するのが怖くて一歩踏み出せないでいる。連絡ノートや個人ファイルの記録や資料では少しの情報しか得られない。利用者の今に合わせたケアにばかりに意識が向いている、集団生活に当てはめて個がなくなっているのかも…。業務を時間内に済ませようと焦ってしまう。ある程度本人に合わせた支援が出来ているが、もっと本人の気持ちを汲み取り対応できるような余裕が欲しい。</p>	
<p>次回目標：利用者本人の普段の生活の中で譲れない何かがあるか聞いてみよう。(聞き出せた人は個人ファイルに記入)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	9/8(火)
------------------	-----	--------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	全体会議出席者17名
---------------	------	------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	0 %	15 人	68 %	6 人	27 %	1 人	5 %	22 人	100 %

前回の改善計画

利用者本人の暮らしの中で家族・ご近所・友人など培ってきた関係を知っていますか？
(利用者本人や家族と話したり、アセスメントを読んで理解してますか？)

前回の改善計画に対する取組み結果

ほとんどの職員が普段の会話や共有される情報の範囲で把握しているが、自宅での詳しい様子や施設外での交友関係を全て知っているわけではない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	利用者本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1 人	5 %	12 人	55 %	7 人	32 %	2 人	9 %	22 人	100 %
②	利用者本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1 人	5 %	9 人	41 %	10 人	45 %	2 人	9 %	22 人	100 %
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	人	0 %	8 人	36 %	10 人	45 %	4 人	18 %	22 人	100 %
④	利用者本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	人	0 %	6 人	27 %	10 人	45 %	6 人	27 %	22 人	100 %

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①何とか重要な人物の把握だけはしている。会話やアセスメントから理解できるよう心掛けている。アセスメントやミーティングなどで関係などを知る事が出来る。ゆっくりした時などに本人に色々な時代(時期)の話を聞くことが出来ている。アセスメントで全体像は把握している。アセスメントなどで知りえた情報も疑問があればケアマネなどに確認している。利用前には資料を読んでいる。アセスメントや本人から話を聞いて把握している。自分と同じ地区の利用者さんはわかる。常に介護のポイントは声掛け、話に耳を傾けることだと思うので話を聞いて理解しようとしている。利用者や先輩スタッフから教えてもらっている。</p> <p>②面会制限などで離れて暮らしてる家族も会いに来られないので様子がわかるように近況を小まめに報告している。連絡ノートに記載したり、送迎時に本人の様子を伝えている。送迎時などに少しずつではあるがご家族の方々とコミュニケーションを図っている。面会時など本人が良い時間を過ごせるよう配慮している。</p> <p>③連絡ノートを活用、送迎時に家族から聞いている。施設で過ごしている時間内では本人の過ごし方を少しは把握できる。家族を見かけた時は出来るだけ声をかけるようにしている。</p> <p>④把握している。事業所としては地域と連携を図って援助できている。民生委員等の地域資源は把握している。地域のボランティアの方々が介入して地域とのつながりが持っていることを知っている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①アセスメントなどをしっかり読めていない。認知症の関係で本人の言葉が必ずしも正しいとは限らない。今の状態はわかっているも今に至るまでの状況まではしっかり把握していなかった。家族構成など以外は分からない。利用数が少ない方との交流が取れていない。</p> <p>③自宅で実際にどのように過ごしているのか想像が出来ない。直接接していない時間は分からない。施設外での生活や地域とどのようなつながりを持っているかはほとんど把握できていない。</p> <p>④利用したことはない。あまりピンとこない。社会資源の種類がよくわからない。把握していない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見:送迎や訪問などで利用者の自宅までいくことが最近はない。日々の業務の中でアセスメントなどを読む時間がない。地域の中での関わりまで掘り下げて把握できていなかった。送迎時の会話だけで十分な会話が利用者や家族と出来ていない。利用者本人と話しても正しい情報ではない時もあり難しい。自分の勉強不足。地域と交流する事が出来ない。</p>	
<p>次回目標:地域資源についてまとめた資料をよく読んで、屋久島にはどんな地域資源があるか理解しよう。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	9/8(火)
------------------	-----	--------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	全体会議出席者17名
----------------	------	------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組めましたか？	3人	14%	16人	73%	2人	9%	1人	5%	22人	100%

前回の改善計画

利用者本人のニーズにを基本とし、本人・家族・介護者の必要な時に必要な事を必要な量だけ支援が行われていますか？

(事業所の都合だけで「通い」「訪問」「宿泊」の回数が制限されたりしてませんか？)

前回の改善計画に対する取組み結果

こちらの都合ではなく利用者の状態に合わせた支援が出来ている。

利用者が事業所側の都合で支援される時の理由がわからない。人員不足？努力不足？どこに問題があるのか考えていきたい。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1人	5%	15人	68%	3人	14%	3人	14%	22人	100%
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5人	23%	14人	64%	2人	9%	1人	5%	22人	100%
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	7人	32%	13人	59%	1人	5%	1人	5%	22人	100%
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5人	23%	14人	64%	2人	9%	1人	5%	22人	100%

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①地域のかかりつけ医等を利用できている。他事業所や病院(訪看・リハビリ)、民生委員等と連携している。</p> <p>②ケアマネが利用者のニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」の調整をしている。事業所が適切に判断して行っている。利用者の体調、介護者の介護能力、疲労具合に合わせて対応できている。</p> <p>③全体会議やカンファレンス、ミーティングなどで他のスタッフの気付きを聞いたり見たりして日々の介護に生かしている。ミーティングでは変化を報告・共有するし、安全にも注意して介助することが出来た。カンファレンスや申し送り時に状態が共有できる。変化に気付いた時は共有できるように報告している。連絡ノートから自宅での様子を把握し、職員間では申し送りなどを利用して共有している。日々の記録がきちんとつけられているので気付いている。</p> <p>④日々のニーズに応じて臨機応変に対応できている。昨日できていたことが今日は出来ていないことがある、利用者本人が不穏にならないよう声掛けを行うなど気を付けた。出来るだけ利用者の声を聴き、手を差し伸べ、笑顔を増やせるよう心掛けている。家族や本人のニーズや体調に合わせてその日、その時に必要な支援(介護・看護)が出来ている。その日の体調に合わせて入浴時間・休憩時間の調整等個別に対応できている。体調の変化や独居の方の台風時等の急な宿泊にも対応できている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①利用者や地域の資源との可能性に関してあまり理解していない。地域とのかかわりが少ない。地域資源を使った支援は出来ていない。地域の資源をもう少し活用できれば…。家族や親しい知り合い、ご近所の方ともっと連携していきたい。</p> <p>②通いや宿泊のスケジュールをしっかりと把握できていないことがあるので毎回表を見て確認するようにしたい。</p> <p>③</p> <p>④利用者と話したいが、時間や仕事の都合に合わせて中々話す時間が取れない。利用者のニーズがわかるほど関わりが持てない。看護の時間帯をこちら側の都合でしてしまうことがあった。忙しくてちょっと待ってと言ってしまう。宿泊時などに自宅に帰りたい等の希望は答えられない、本当にニーズにこたえられているのか?と思う時もある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見:施設職員が外部の事に触れる機会がほとんどない。家族の要望や仕事を優先すると利用者に関われなくなる。地域資源を把握していない。時間に追われて利用者のタイミングに合った支援が出来ない事があった。家族や介護者の事情や安全対策等を考えると利用者の希望だけを聞く事も出来ない。屋久島の地域資源で何が出来るでしょう?近所や親戚などの関係が希薄になっている時代の中で民生委員や包括、病院、他事業所等と連携できていると思う。</p>	
<p>次回目標:誰か一人利用者さんを選んで本人に希望や要望を聞いてみよう。(個人ファイルに記録に残すこと。すぐに叶えられる場合は聞いてあげてください。すぐには無理な場合はその日のリーダーさんや管理者・ケアマネに相談してください。)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	9/8(火)
------------------	-----	--------

6. 連携・協働	メンバー	全体会議出席者17名
----------	------	------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10%	11人	52%	5人	24%	3人	14%	21人	100%

前回の改善計画

利用者本人との暮らしの中での周りとのつながりと、他事業所や医療機関などと連携が取れていますか？
(地元地区への外出、行事への参加、包括支援センターや町からの相談に応じる、地域の会合に参加する、など)

前回の改善計画に対する取組み結果

事業所単位で連携が取れているが、個人的には関わりがないのでどのように連携を取っているのか知られていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行いますか?	3人	14%	7人	32%	4人	18%	8人	36%	22人	100%
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2人	9%	4人	18%	5人	23%	11人	50%	22人	100%
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2人	9%	7人	32%	6人	27%	7人	32%	22人	100%
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3人	14%	8人	36%	4人	18%	7人	32%	22人	100%

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①参加できるものは代表者やケアマネが参加している。担当ケアマネージャーが他事業所との連携を図り、ケアマネ会などに参加している。管理者・ケアマネが対応している。よくわからない。病院との連絡報告等出ている。利用者さんの身に変化が起きた時はケアマネや看護師が医療機関やその他必要な関係機関と連絡を取り合っている。</p> <p>②自治体や地域包括支援センターとの会議には必ず参加している。イベントなどにも参加している。管理者・ケアマネが対応している。</p> <p>③利用者の体調やコロナウイルスの情勢を見て参加できるものに参加している。地域の福祉イベントに積極的に参加している。地域のイベントなどに参加したときのことなどを話題に取り上げて利用者さんと話したりしている。利用者のレベル低下もあり、参加する事自体が難しくなっている。外出などの希望を聞き、他のスタッフの申し送りを行う。面会制限がかかる前は施設のイベントなどに子供達や利用者の友人などにも来ていただいていた。地元地区へのドライブなどを行っている。</p> <p>④新型コロナウイルスの影響が出る前は小中学生・保育園児等との交流を積極的に行っていた。行事によって保育園・小中学生の訪問、参加してもらうことが出来る。地域住民が事業所を訪れる機会を大事にしている。サービス精神も良いと思う。クリスマス会などで保育園の子供たちが踊りを披露してくれている。行事等への家族の参加が減少している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①個人で会議などに参加する機会がない。個人として参加したことはない、看護師やケアマネから聞き取りのみになっている。</p> <p>②自事業所以外とのかかわりがあまりない。</p> <p>③自治体・地域とのイベント等に参加できていない。個人的に地域の関わりはあまりできていない。</p> <p>④今はコロナウイルス感染拡大防止のため出来ていないが、地元のお店からお菓子を頂いたり、高校生ボランティアからマスクの提供などを受けている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見:新型コロナウイルスの影響で、外出や外部からの訪問も制限しているので工夫していきたい。よくわからない。会議などは職員個人で日程や内容の把握していない。事業所単位やケアマネ、管理者、看護師は会議・他職種や他事業所などと直接話すこともあると思うが、施設職員が接することは少ない。</p> <p>次回目標:新型コロナウイルスの影響で外出や面会が制限されていますが、利用者や家族・介護者の為にどんな工夫をしたらよいか考えてみよう。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 10/13(火)

7. 運営

メンバー 全体会議出席職員16名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	3人 14%	15人 68%	3人 14%	1人 5%	22人 100%

前回の改善計画

小規模多機能事業所として地域に対して開かれた運営が出来ているか？
(小規模多機能事業所とは？を理解し、職員も運営に参加していますか？)

前回の改善計画に対する取組み結果

小規模多機能事業所とは？に関してなんとなくはわかっているがはっきり答えられるかと言われると難しい。理解していない。
新しい職員の中には小規模多機能事業所に関して理解していない職員もいるかも？

今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	2人 9%	10人 45%	6人 27%	4人 18%	22人 100%
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	9人 41%	8人 36%	4人 18%	1人 5%	22人 100%
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	2人 9%	12人 55%	5人 23%	3人 14%	22人 100%
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	2人 9%	7人 32%	9人 41%	4人 18%	22人 100%

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①全体会議やカンファレンスなどで意見を言うことができる。運営に対して意見を言うことはないが、利用者の宿泊の期間や受診に家族が付き添いするなどの意見は言っている。</p> <p>②利用者・家族・介護者の意見は全体で共有し、会議で検討したうえで日々の運営に反映できている。その都度対応できている。連絡ノートを通して家族からの意見や苦情には対応、報告、共有することができている。意見などを聞いた時は共有するように努めている。</p> <p>③苦情箱を設置している。要望苦情報告書等を通して対策している。意見や苦情は対応できている。ランチドライブや外出などで地域の方達と交流できる。地域の方達にも施設へ来ていただく機会を作れている。運営推進会議を通して地域の方と意見交換が出来ている。</p> <p>④地域の福祉イベントに積極的に参加している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①小規模多機能事業所を理解していない。自ら意見を言うことが少ない。特に意見がない。</p> <p>②報告や共有されたことも忘れてしまうことがある。申し送りを把握していない事もあった。</p> <p>③地域における事業所の運営という視点は少ない。</p> <p>④出来ていない。地域と協働した取組が具体的に分からない。積極的に地域の方々と関わっているとは言えない。分からない。今はコロナウイルスの影響で一部の職員の未対応。地域の行事などに参加する機会がない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見:小規模多機能の運営に携わるという意識がない、日々、利用者さんの暮らしがよくなればという意識ばかりになってしまう。 小規模多機能事業所を理解していない職員もいる。</p> <p>次回目標:小規模多機能事業所とは?という資料をもう一度読んでサインをしよう。(個人ファイル棚下段にあり)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 10/13(火)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 全体会議出席職員16名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組めましたか？	4人	18%	13人	59%	5人	23%	人	0%	22人	100%

前回の改善計画

事業所の質を向上させるために、研修や勉強会、資格取得などが積極的に行われているか？
(勉強会に職員全体が参加できているか？参加できていない場合は共有できていますか？)

前回の改善計画に対する取組み結果

施設内での勉強会はほぼ毎月全体会議にて行われている、参加できない時は資料を読んでサインで全体に周知しているが、今年は新型コロナウイルスの影響もあり外部での勉強会、研修は少ない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか？	6人	27%	11人	50%	3人	14%	2人	9%	22人	100%
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか？	2人	9%	3人	14%	10人	45%	7人	32%	22人	100%
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	人	0%	2人	9%	6人	27%	14人	64%	22人	100%
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか？	4人	18%	11人	50%	6人	27%	1人	5%	22人	100%

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①職場内の勉強会は全体会議でされ、参加できない職員は資料を読んでサインしてもらうことになっている。職場内の勉強会や避難訓練などに可能な限り参加している。勉強会を実施し、共有することが出来る。利用者の疾患の勉強会、嚙下について、感染症対策など自ら主体となって勉強会を行った。</p> <p>②チャンスがあれば資格取得・スキルアップ等チャンスがあればいつでも取り組みたい。</p> <p>③地域連絡会に参加している。</p> <p>④ヒヤリハット・事故報告書の定期的な検討会を実施している。ヒヤリハットなど必要時に記入している。取り組んでいる。避難訓練など実施・参加している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①施設外の勉強会に参加していない。事業所内の研修に参加できていない。参加できていないが、過去の研修内容はいつでも確認することが出来る。</p> <p>②今はスキルアップを求めているので参加していない。出来ない。スキルアップのための研修会・資格取得等出来ない。</p> <p>③地域の連絡会には個人としては参加していないが事業所単位では参加している。どこでいつ行われているのか分からない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見:事業所内の勉強会は勤務時間がいであれば参加できる。資格取得やスキルアップは大体島外なので参加が難しい。施設外での勉強会で子供がいても参加できるものがほとんどない。研修など個人で参加するには内容・回数・時期・期間によって仕事を休まなければならないし、島外がほとんどなので今のコロナウイルスの状況では参加できない。</p> <p>次回目標:事業所では様々な勉強会や研修が行われ、事業所外の研修などの案内を掲示板や事務所で見る事ができます。自分にとって必要な研修や資格がないか調べてみよう。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	10/13(火)
------------------	-----	----------

9. 人権・プライバシー	メンバー	全体会議出席職員16名
--------------	------	-------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	23%	15人	68%	2人	9%	0人	0%	22人	100%

前回の改善計画

人権・プライバシーについて正しく理解していますか？
(身体拘束・個人情報保護・プライバシー保護など)

前回の改善計画に対する取組み結果

身体拘束、個人情報の保護、プライバシー保護などの勉強会があり、おおむね理解されている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	身体拘束をしていない	8人	36%	13人	59%	人	0%	1人	5%	22人	100%
②	虐待は行われていない	14人	64%	8人	36%	人	0%	人	0%	22人	100%
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	8人	36%	13人	59%	1人	5%	人	0%	22人	100%
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2人	9%	5人	23%	6人	27%	9人	41%	22人	100%
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7人	32%	15人	68%	人	0%	人	0%	22人	100%

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①どうしても身体拘束が必要な時は全体で十分に話し合い、ご家族の了承を得た上で行っている。スタッフが多く、ゆとりが持てている為、必要以上(柵やアラームなど)の身体拘束をする必要がない。毎月、身体拘束検討会でセンサーや拘束衣がなぜ必要なのか把握した上で評価を行い、拘束ゼロを目指している。</p> <p>②スタッフ同士が声を掛け合い、助け合うため虐待も起こりにくい環境。虐待を見たことがない。たまに言葉が荒くなってしまうことがある。</p> <p>③各自自室のプライバシーは守られている。個人情報・プライバシー保護には必要性を理解し、注意するようにしている。排泄介助や入浴介助など特にデリケートな介助が必要な場合は手早く、他の人の目に触れないよう努めている。普段から意識して気を付けている。排泄チェックを大声で聞くなど配慮しきれていない所もある。</p> <p>④成年後見制度を利用するような該当者がいない。パンフレットは用意している。</p> <p>⑤適切な個人情報の保護が出来ていると思う。勉強会などで職員にも周知されている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①身体拘束をしないようにより一人一人の利用者をよく観察し、行動パターンを把握していない。</p> <p>②転倒転落防止のためなのか、排泄パターンの把握の為なのか混乱することがあるので完ぺきではない。</p> <p>③入って日が浅い為、わかっていない事もある。介護することが当たり前になりすぎて、(トイレやお風呂の入口が空いている又は食事中に大きな声で話している等)介護の基本、人としての尊厳を支えるケアを忘れずに心掛けたい。</p> <p>④該当者がいない。</p> <p>⑤個人的な知り合いや親戚から利用者への状態について聞かれることがあり、詳細な事は言わないにしろ、返事やニュアンスで伝わっていることもあるように思う。島ならではの個人情報のネットワークがあり、完璧にとは言わないが、それぞれが気を付けている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見:狭い地域で知り合いや親戚も多い為、利用者との関係がよくわからず、いざという時個人情報の漏洩につながらないか、どこまで話したらよいか不安。プライバシーへの配慮などは出来ているが、人権への理解は浅い。個人を尊重し、プライバシーを守り、個人情報の流出がないよう個人ファイルを病院以外に持ち出さない事や、シュレッダーを活用するなど出来ている。身体拘束、プライバシーの保護、個人情報の保護、虐待防止の勉強会が行われている。後見人制度を理解している職員が少ない。</p>	
<p>次回目標:年に一回、身体拘束防止、虐待防止、個人情報保護、プライバシーの保護、成年後見人制度について勉強会に参加、又は資料を読む。</p>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	有限会社 岡村	代表者	代表取締役 岡村 栄一	法人・事業所の 特徴	地域密着型特定施設と併設されており、屋久島町にただ一つの小規模多機能である。海と山とが一望できる。利用者が自分のペースで通いや宿泊、訪問を利用できるように、家族・職員・看護師との連携を密にし利用計画を立てて、家族の急病や台風などによる急な利用にも対応している。常時見学なども受け入れており、地域住民とも親交を深め親しみやすい施設を目指している。
事業所名	ひまわりのお家	管理者	岡元 さつき		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	安藤	齋藤・新出	下野・森山					岡元・濱田	山口・村中	9

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員が意欲的に取り組めるよう全体会議の中で出来るだけ時間を短縮していけるようにしたい。改善計画を意識していけるよう工夫する。	具体的に計画が立てられ、職員がそれぞれ真剣に取り組む、様々な意見が出ているのが分かる。	職員や運営推進委員より評価システムが難しく分かりにくかった。	事業所サービス評価の取り組みはなされていたが、システムや評価方法が難しくわかりづらかった。わかりやすく工夫する。
B. 事業所のしつらえ・環境	老朽化に伴う設備の修理や改修を進めていく	新型コロナウイルスの影響で大浴場の回収をするつもりだったが業者が来られずに出来ていない。	どこが修理や改修が必要なのか報告を受けていないので分からない。 ・大浴場→脱衣所の床がもろくなってきており、全体の回収が必要。 ・エアコン→古い物から順次新しいものに交換 ・小規模ホールトイレ→雨漏り有。修理が必要。 ・建物正面入口→鉄柱に車を接触させてしまう人が数名いた。ぶつけないようにポールを設置した。	前年度できなかった大浴場や、雨漏りの修理・回収を実施する。
C. 事業所と地域のかかわり	ひまわりのお家として地域にできることはないか考えてみよう。	少しでも地域に役に立てば…と「子供110番の家」として登録済。	今年度は新型コロナウイルス流行の影響もあり、地域のイベントや行事に参加することは出来なかった。感染予防などの対策をして参加できるものに参加していきたい。	「子供110番」としての役割を職員が理解する。地域のイベントや行事に感染対策をして参加したい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	他職種との連携を深める。	普段より他職種との連絡を小まめに取り、連携できている。	・外出・ドライブ時には利用者のなじみの場所に行けるよう配慮していきたい。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で少なくなったが、感染予防対策をして外出している。	感染予防や安全対策を取ったうえで、利用者の外出や交流を実施する。

E. 運営推進会議を活かした取組み	職員が運営推進会議に参加できるようにする。	業務上これ以上職員がぬけるのは難しかった。職員へは運営推進会議録で確認してもらう。	現在地域で起こっている事や、介護に関する疑問などを話し合うことができている。	運営推進会議で話し合われた意見の結果や改善点をしっかり報告する。
F. 事業所の防災・災害対策	防災マニュアルを運営推進委員会で見てもらう。	マニュアルなどの整備が間に合わず、見ていただくことができなかった。	町や地区の防災訓練が実施されないの で事業所単位で行うしかない。 →災害避難訓練等を独自で行うときは始めと終わりに町に報告してほしい。	防災マニュアル。非常災害対策の整備を急ぐ。